

2025年度 教育課程編成・実施の方針に照らした教育の取組の適切性に関する検証

学科・研究科専攻名 リハビリテーション学科

作業療法学専攻

- ・分析対象の内訳：1年生 44名、2年生 2名、3年生 33名、4年生 1名。2年生・4年生は回答数が極めて少ないため、参考値として扱う。
- ・全体的な傾向・充足度合：今年度全体平均では「対象者中心」が4.89と最も高く、「豊かな教養」も4.54と全項目で4を上回った。1年生と3年生では、学内教育や実習経験に応じて概ね安定した値が確認できた。
- ・前年度との比較：回答数の偏りから単純比較は慎重に行う必要があるが、「作業療法の発展的理解」「対象者中心」で前年度全体平均を上回り、「人間教育」「豊かな教養」「基礎医学の知識」「臨床医学の知識」「作業療法の知識と技術」「臨床実習」「総合的理解と研究的視点」では前年度をやや下回った。特に「対象者中心」は引き続き高い水準にあり、教育課程の中心的な学修成果が維持されていることがうかがえる。

